

おはようございます。経済産業大臣の甘利明でございます。

初めにお断りしておきますが、ネクタイを持っていないわけではありません。イタリア製のものもたくさん持っています。日本は6月1日からカジュアルな服装で仕事に臨もうという、「クールビズ」と呼ばれる期間がスタートしています。地球温暖化防止の一翼を担う国民運動です。それで今日はこういう格好で臨んだということ、まずご承知を頂きたいと思います。

ザッパ日伊ビジネスグループ・イタリア側会長、そして福原日本側会長、アゴスティーニ国際貿易省政務次官、ヴァッターニ・イタリア貿易振興会会長、ボヴァ駐日大使、ご来賓の皆さま、第19回日伊ビジネスグループの会合が開催されるに当たりまして一言ごあいさつをさせていただきます。

日伊ビジネスグループは、1989年の設立以来、両国産業界の重要かつ唯一の交流パイプとして、日本・イタリア経済関係の維持・発展に大きく貢献をされてきたと高く評価をしています。なお、ザッパ氏は今回の会合からイタリア側の会長として新たに就任されたと伺っています。両国経済関係の一層の発展に向けた今後の貢献を期待しています。

また、本年3月からイタリアの多様な魅力や潜在的能力をわが国に紹介するプリマベラ・イタリアーナのもとで、各種セミナーや催し物が盛大に開催されています。今回、その一環として第19回会合が開催されることは、誠に喜ばしい限りです。イタリアの製品やファッション等の文化は多くの日本人を魅了しています。これは感性に根差したイタリアのものづくりが、われわれ日本人の共感・支持を得ていることにほかならないと私は考えています。

近年、デザイン、ファッション、アニメ、そしてゲームなど、日本発の感性が世界から注目を集めているところですが、ただ、現在わが国は人口減少、少子高齢化、近隣諸国との競争の激化などの課題に直面をしています。こうした制約の中にあっても、今後ともわが国経済の活力ある発展を目指すために、経済産業省はこの「感性」に着目した「感性価値創造イニシアティブ」を策定したところです。これは、性能と信頼性のよいものを安い価格で提供するという従来の価値観に加え、生活者の感性に働き掛け、共感や感動を得ることで顕在化する「感性価値」を新たに第4の軸として位置付け、真に良い商品・サービスを作っていくための今後の取り組みの方向性を示したものです。

これを踏まえまして、私としましては、今後日本の強みを生かしつつ、感性価値創造実現のための具体的な施策作りに努力をしまいる所存です。先ほど申し上げましたとおり、イタリアは感性に訴えるものづくりに優れたものを有していると考えており、わが国としてもイタリアに学んでいく点が大いにあると思っています。

今回の日伊ビジネスグループでは、私の友人でデザイナーのケン奥山氏が基調講演を行うと伺っています。同氏はイタリアにおいてカーデザインの指揮を執られてきたというご経験があり、両国の感性のコラボレーションという観点から示唆に富むお話が伺えるのではないかと考えています。残念ながら私はこの後国会がありますので、話を聞けないで失礼をすることを本当に申し訳なく思っています。今回のプリマベラ・イタリアーナを通じ、また日伊ビジネスグループの議論を通じまして、両国の関係が一層深まり、イタリアの新たな魅力が見いだされることを心から期待しております。

最後に、ザッパ、福原両会長をはじめ、第19回日伊ビジネスグループ会合の開催に向けた関係者の皆さまのご尽力に敬意を表しますとともに、両国産業界の関係が、お互いの社会や文化への相互理解に根差しつつさらなる発展を遂げることを祈念して、私のごあいさつとします。ありがとうございました。